



日本洋書協会

JAPAN ASSOCIATION OF INTERNATIONAL PUBLICATIONS

MAY 2019
REPORT MAGAZINE

会報誌 vol. 53 no. 3

Published by JAIP 1-1-13-4F, Kanda-Jimbocho, Chiyoda-ku, Tokyo 101-0051

e-mail:office@jaip.jp

理事会報告 2019年2月28日(木)

出席(敬称略) グレシャム、山川、松村、阿部、平野、河村(議事録作成)、事務局

1. 理事長、副理事長選出
役員選挙で選出されたグレシャム理事、山川理事、松村理事、河村理事の互選により、理事長にはグレシャム理事、副理事長には河村理事が選出された。
2. 来年度方針及び担当委員会決定
各理事の担当委員会決定にあたり、来年度の事務局運営方針(参考資料:事務局業務棚卸リスト)が総務委員長から共有され、進め方が承認された。
理事長からは、協会運営の問題解決に労力が取られ、この2年間は会員のための活動が十分に行えなかった。来年度は会員のための活動を強化する方針で臨みたいと方針が披歴され、全会一致で合意した。
更に、現在の理事の任期に関して、強制的な理事の交代システムを取り入れたことで、一定の効果があった。今後は、悪影響が懸念されるので、規約改訂の検討を行うべきという意見が多数を占め、来年の総会に向けて、総務委員会での検討が諮問された。
担当委員会は下記のとおり、決定した。(敬称略)
総務委員会 担当 河村副理事長 委員長 平野 寛(ユサコ)
不定期セミナー開催 担当 山川理事(運営は総務委員会)
- メディア・広報委員会 担当 グレシャム理事長 委員長 遠藤 尚子(MHM)
事業委員会 担当 松村理事 委員長 石谷 清(丸善雄松堂)
文化・厚生委員会 担当 阿部理事 委員長 山田 仁(トライアログ)
3. 来年度予算
平野委員長から総務委員会案が提示され、承認された。実質的な年間収入(約4,100千円)に合わせて、事務局運営費を中心に支出を約2,000千円切り詰め、バランスをとったものだが、長期的に見れば、抜本的な改善の必要性が解消したとは言えず、会員確保に努めることを申し合わせた。
4. その他
アシェットジャポン(風音色)のトライアログへの名称変更が承認された。
改訂中のダイレクター掲載に間に合うように事務局で調整する。
理事会の議事録は、理事長を除く理事の持ち回り(理事長の指名)で作成するというルールが確認された。(初回は河村副理事長が担当)

理事会報告 2019年4月17日(水)

出席(敬称略) グレシャム、山川、河村、鶴、阿部(総務、事務局)

1. 決算状況
事務局から2018年度の決算の説明があった。次期繰越金は当初の予算より約55万円多くなった。
また4月4日に会計監査が行われ、問題はなかった旨報告があった。
2. 退会承認
(株)マクミランランゲージハウス
(株)ウォルターズ・クルワー・ヘルス・ジャパン
大洋交易(株)
西山洋書(株)
(株)至成堂書店
以上5社から出されていた退会届は受理された。
3. その他
・(株)MHMと事務局の業務委託契約を結ぶためのドラフトの作成を総務委員会に指示した。費目名称に注意が必要。
・上記が確定するまで予算案での表記は人件費と事務局運営費とする。
・予算案で懇親会費の大幅な減額を行ったので、新たな会場を探そう文化・厚生委員会に指示した。
・現理事による理事会はこれが最後。細谷理事、鶴理事ご苦勞様でした。
4. 今後の予定
・5月中旬 総務委員会
・5月24日 総会
・6月初旬 理事会
・7月12日 サマーパーティー

リーヴル・パリに参加して

3月15日(金)から18日(月)にかけて開催されたリーヴル・パリ Livre Paris に行ってきました。リーヴル・パリは、かつては「サロン・デュ・リーヴル」の名で親しまれ(2016年に改名)、今年で39回目を迎えるフランス最大の国際ブックフェアです。4万㎡の会場があるのは、パリ南西端に位置するポルト・ドゥ・ヴェルサイユ。モンパルナス駅からメトロ12号線に乗って約10分といったところででしょうか。今年の世界50ヶ国から470社が参加、出展ブースは450とほぼ例年通り。4日間を通しての来場者は16万人でした。毎年大統領が来場することでも知られています。しかし、今年のマクロン大統領はピレネー山脈にてスキー休暇中でした。もっとも、16日(土)に「黄色いベスト」運動の一部が暴徒化したため、急遽パリに戻って対応に追われていました。いずれにせよブックフェアどころではなかったようです。私はスキーはやりませんが、ピレネー山脈はとても魅力的です。いつか重いザックを背負って登り、尾根伝いをテン泊縦走してみたいです。

ピレネー山脈はさておき、今回私がリーヴル・パリに参加したのは最終日の18日(月)でした。フランクフルトやロンドンと違って、商談日は最終日だけで、しかも午前中のみ。しかし、というか、もちろんというか、往々にしておしゃべりな彼らを相手にして午前中で終わるわけがありません。私はあらかじめアポイント間にそれなりの余裕を設け、いくつかのアポイントは事前に堂々と午後の時間を指定して臨みました。

「魚屋が魚河岸に行くように、あなた方も現地に行かないとね。ハッハッハ」「そうですね、ハッハッハ」と、いつだったか納品先の大学で、ある先生と笑いながら話したことがあります。なるほど確かに、鮮度のいい洋書が巨大な敷地にこれでもかと集まった様子をまずは俯瞰し、しかる後、これと思ったものを手に取って、この目で品定めをしていくのは、私たちのような輸入業者にとって、今でも必要なことだと私は思います(さすがに毎朝というわけにはいきませんが)。また、日本に閉じこもってばかりいるとつい忘れがちですが、私たちの取引先は世界各国の業者を相手にしていて、私たちはその「外国」の業者の一つに過ぎません。たとえふだんのメールのやりとりが問題なく順調であっても、現地で当地人たちと会って自らをアピールし、自らの要望を主張するのとならないのでは、その後の仕事の条件や進み具合が大きく違ってくるのです。

今回、会場内を回りながら思ったのは、キッズやヤングアダルト向けのブースが充実しているなということでした。例えば、絵本専門の出版社のブースのほとんどがメインの通りに面していました。また、日本の漫画の翻訳を出す出版社が集まったコーナーが会場中心部に据えられ、昼の12時を過ぎると、小・中・高校生たちがそこを目指してどっと押し寄せてきました。BD(バン



ド・デシネ)の国、フランスにおける日本の漫画の需要は相当なもので、あるデータによると、国内BD総売り上げの38%にもなるといいます。さらにこれは個人的な意見ですが、日本の漫画家に対する芸術的評価やリスペクトは、もしかしたら私たち日本人以上かもしれません。

業界紙リーヴル・ヘブド Livres Hebdo の記事によると、期間中を通してリーヴル・パリには3000人もの作家が参加、数多くの講演やサイン会が行われたようです。そこには、特に若い世代をリーヴル(本)の世界に巻き込もうという主催者側の「大きな文化的賭け」があり、それは今回見事に功を奏したとのこと。リーヴル・パリは、ここ数年で、ビジネスよりも作家と読者とのインタラクティブな時間に重きをおく場に大きく舵を切っており、どこかここ数年の東京国際ブックフェアに似ている印象を受けました。

そんな中で開場の10時から肅々とアポイントをこなしていた私ですが、14時を過ぎた頃に取り引先の一人と昼食をとることになりました。しかし、会場内のレストランはどれも満員。まだまじなのはPaulのスタンドでしたが、「Paulのパンは駅中でも東京でもロンドンでも食べられる」と主張すると、それではと外に出て、会場前の大通り沿いの、どこにでもあるようなビストロへ。日替わりランチ(Plat du jour)がまだやっていたので、それを注文しました。この日はマニフ(デモ行進)もなく、日常に戻ったパリはとても平和です。暖かくも適度に乾燥した春の日差しには、白ワインがとてもよく合う。アントレ(Entrée)、プラ(Plat)と進み、通りを行き交うトラムを眺めながら食後のエスプレッソ(ふつうに「カフェ」を注文すると出てくる)を飲んでしっかり休むと、やれやれと共に重くなった腰を持ち上げ、私たちは再び会場に向うのでした。

(株式会社フランス図書 高鷲 大介)

我が社・わが街

第19回 神奈川県平塚市

有限会社フォリオス

木暮 欣正

こんにちは。こちらは有限会社フォリオスと申します。主に英米のリメイダーやバーゲンブック、またアートブックなどを扱っております。2003年神奈川県平塚市に創立し、あっという間に16年も経ってしまいました。どうして平塚なの?というご質問を多くいただきますが、自宅から近いから、ただそれだけなんです。個人で起業をしましたので、東京に事務所や倉庫を持つことはたいへんなコストです。またインターネットが普及し、昔ほど仕事をする場所を選ばなくなったと思います。パソコンひとつ、ネットに繋がっていれば、私の場合はかなりの量の仕事をする事ができます。平塚は事務所、倉庫の家賃も都内と比べれば格安です!皆さんおススメですよ!

平塚と聞いて何を思い浮かべるでしょうか?たぶんベルマーレ平塚という方も多いのではないのでしょうか。中田英寿さんが所属していたチームです。現在は湘南ベルマーレというチーム名に変わっていますが、J1リーグにしっかりと残って、素晴らしい戦いを見せてくれています。私もよくスタジアムに出かけて観戦します。ウチの事務所からだと自転車で20分ぐらいです。ビッククラブにはない低予算、毎年のようにやってくる降格争いのハラハラドキドキ!仕事で外国人と話すときよくサッカーの話題になりますが、その時に「ナカータのいたチームの町なんだよ」と説明すると、たぶん地理なんかはわからないものの、皆さん笑顔で納得してくれます。さすがにヒデ(地元ではそう呼んでます)はワールドクラスですね。

また平塚は他のスポーツもとても盛んです。ビーチバレーの公式ゲームの会場(弊社より車で5分)がありますし、また漫画「スラムダンク」は湘南が舞台となっていますが、バスケットボールBリーグの横浜B・コルセアーズは平塚総合体育館をホームアリーナのひとつにしています。さらに、プロ野球の横浜ベイスターズのファームは平塚球場をホームスタジアムのひとつにしています。Jリーグ、Bリーグ、プロ野球の会場すべては平塚総合公園内にあるので、日本の代表的なプロスポーツを平塚でたくさん見る事ができるんです。すごいでしょ?もうひとつ、お金を増やしたいという野心のある方は平塚競輪場もありますよ!

観光にもとても良い場所があります。歌川広重が東海道五十三次で彫った平塚には、ほこっと隆起した山があります。これは隣町の大磯との間に跨る高麗山です。この高麗山

の上に高麗山公園(通称湘南平)があり、ここはカップルが永遠の愛を誓って南京錠を金網などに括り付ける儀式の発祥の地ではないかと呼ばれています。湘南平には大きな電波塔があり、この支柱に夥しい数の南京錠が括り付けられていましたが、あまりにも数が多いので近年電波塔への施錠は禁止となり、代わりに自治体が「AINOWA」というオブジェを設置して、それが代替場所となりました。儀礼をおこなったカップルは良くも悪くも別れられないことになってしまいますが、望むところというかたは南京錠を持ってお二人でぜひ!

それはともかく、この湘南平からは湘南海岸を一望できて、景色は本当に最高です。伊豆半島、富士山、茅ヶ崎の烏帽子岩、江ノ島、三浦半島、伊豆大島などが360度一望です。それほど高い山ではないので、プチ・トラッキングにも向いていて、週末は観光客などが麓から登る姿をよく目にします。

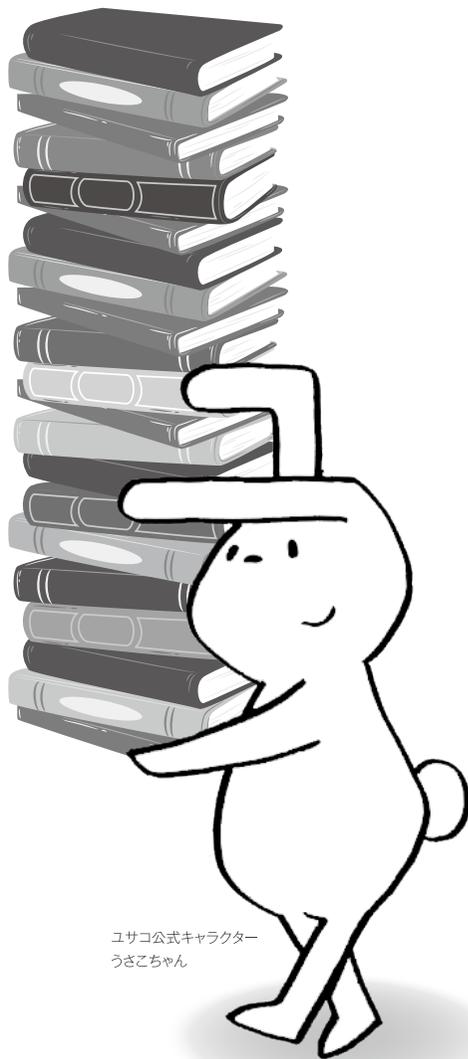
海もあり山もあり、東京までは電車でちょうど1時間ぐらいの平塚はとてもよいところです。



BMW スタジアム平塚



湘南平 AINOWA と眼下に太平洋



ユサコ公式キャラクター
うさこちゃん

ユサコは、これからも学術情報を通じて
研究者を支えていきます

ユサコ株式会社